

(2)総合評価シート(様式)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート(令和7年度)

施設名	吹田市立千里山コミュニティセンター	所管部室課名	市民部市民自治推進室
所在地	吹田市千里山霧が丘22-1	設置年月日	平成27年4月11日

1 施設の概要

(1)設置目的	文化学習活動、ボランティア活動等市民の多様な地域活動の用に供し、地域における情報の交流を促すとともに、世代を超えた市民の連帯を深め、潤いのある豊かな地域社会の形成に寄与する。		
(2)規模、開館日等	【規模】 (敷地面積)2,283.57㎡ (延床面積)920.54㎡ (貸室名称) 会議室3室、和室 多目的ホール、創作室、料理実習室	【開館日等】 (開館時間)午前9時から午後10時 (休館日)12月29日から1月3日、施設の点検日	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	千里山コミュニティ協議会				
(2)指定期間	令和3年(2021年)4月1日～令和8年(2026年)3月31日(5年間)				
(3)選定方法	非公募				
(4)指定管理者が行う業務内容	施設の管理運営業務				
(5)指定管理者の収支			令和6年度		令和7年度
			計画	実施結果	計画
	収入	指定管理料又は利用料金(円)	22,109,575	21,844,256	22,620,176
		自主事業(円)	1,438,000	1,403,796	1,438,000
		その他(円)			
	支出	管理経費(円)	22,109,575	21,844,256	22,620,176
		自主事業(円)	1,438,000	1,403,796	1,438,000
		その他(円)			
	収支差額(円)		0	0	0

3 成果指標(活動指標)

成果指標(活動指標)		令和6年度		令和7年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	利用件数(件)	4,350	4,728	4,870	4,856
2	稼働率(%)	60.00	65.30	67.26	67.00
3	利用人数(人)	45,000	50,350	51,861	58,032
4					
5					
6					
7					
8					

4 利用者ニーズの把握状況

(1)把握方法	・利用者アンケートの実施 ・窓口での利用者との対話
(2)把握結果	令和7年度の利用者アンケートでは、8割の利用者から「大変満足」・「満足」との評価結果を得ている。自由記述回答においても、職員の接遇や施設運営等について良い評価を得ている。その他の主な意見・要望は以下のとおり。 ・窓口でのクレジット決済やオンライン決済があると便利である ・防音設備があるとありがたい ・グランドピアノ(或いはアップライトピアノ)があれば嬉しい
(3)結果を受けての対応状況	・利用者ニーズの把握を継続的に行い、要望があればスタッフ間で共有するなどして、継続的な改善に努めている。 ・キャッシュレス決済の導入は、検討を行っている。 ・直ちに実現できない内容に関しては、丁寧な説明を行い、理解を得られるように努めている。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	・管理運営の方針は、事業計画書に記載されている事項を遵守されていた。 ・抽選や先着申込みが規定された吹田市立コミュニティセンター条例施行規則に基づき、貸室に関する業務を実施し、また、広く市民へ施設案内等の広報活動を実施することで、市民が平等に利用できる機会の確保に努めていた。
(2)施設の効用の発揮	・自主事業ごとにアンケート調査を実施し、施設の効用を高める取り組んでおり、「文化学習活動、ボランティア活動等市民の多様な地域活動の用に供し、地域における情報の交流を促すとともに、世代を超えた市民の連帯を深め、潤いのある豊かな地域社会の形成に寄与する」目的に合致した事業運営を行っていた。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	・管理を安定して行うため、合計17名のスタッフを配置している。また、緊急時の対応マニュアルや連絡網を整備する等、市へ迅速に報告・連絡ができる体制が構築されていた。 ・雇用契約書を交わし、労働時間等について法令を遵守していた。
(4)施設の管理経費の縮減	・不要な照明の消灯、ペーパーレスの推進の経費削減策が取られていた。
(5)その他	
(6)総合評価	令和7年度の利用人数は、計画値を上回っている。また、同年度の利用件数、稼働率、利用人数は、すべてにおいて令和6年度の実施件数を上回っており、令和7年度の利用者アンケートでは、8割の利用者から「大変満足」・「満足」との評価結果を得ている。管理運営状況からも「文化学習活動、ボランティア活動等市民の多様な地域活動の用に供し、地域における情報の交流を促すとともに、世代を超えた市民の連帯を深め、潤いのある豊かな地域社会の形成に寄与」していると評価する。